



2014年1月25日

日本フォーミュラ・フォー 関係者各位

日本F4協会 事務局

お知らせ

触媒装置の取り付けについて

前略 皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

2011年度より、F4地方選手権シリーズにおいてはJAFの認定を受けた触媒装置の装着が義務付けられています。

この触媒装置は取り付け方向が規定されています。取り付け方向は触媒が十分な性能を発揮するためのものです。ルール違反の無いように再度のご確認をお願いいたします。

触媒装置に貼付されているREUシリアルプレートの「R」文字が排気流の上流側(エンジン側)となります。

また、触媒装置が性能と耐久性を発揮するためには過度の温度上昇を≪防ぐ必要があります。触媒装置に十分な走行風があたるように配慮してください。また、走行後の停車時に触媒装置の雰囲気温度が上昇する場合があります。温度上昇を避けるよう、周辺には冷気が自然循環できるように、十分な空隙を設けてください。

落下を防止する目的で、触媒装置の取り付けにブラケット等を介して車両後部のハードポイントに固定している車両があります。この場合、激しい振動や、熱による排気管の伸びによる移動で、強い力が触媒装置に伝わる場合があります。作用力を緩和するインシュレーター等を利用した取り付けを推奨します。

過度の温度上昇、無用な力の作用を防ぐことが触媒装置の性能発揮と耐久性を延ばすこととなります。

なお、当該触媒のJAF登録申請書はF4協会ホームページ【<http://www.formula-racing.org/>】の「F4車両について」/「F4・車両」ページで図面を含め紹介しております。

早々